

# ジャパングラブ

NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

## 11月度理事会報告

## ジャパングラブ2017年度 定期総会 / 新年会開催日及び詳細決定

11月5日(土)に開かれた11月度理事会は5名の理事が参加され、下記の点に付いて討議がなされました。

### 1) 2017年度総会/新年会

2017年度総会/新年会の開催はサンフランシスコ桑港寺の社交室にて1月15日午前11時より開催されます。

総会に於ける2016年度事業報告/2017年度計画案は古田理事、2016年度決算報告/2017年度予算案は沖山理事、理事改選関連事項は大隅理事が夫々担当し報告する事に決まりました。

新年会は昨年同様にジャパングラブ自慢の粕汁を始め折り詰め弁当、切り餅などを主にしてサラダその他がテーブルを飾る。更に余興としては日本舞踊の名取りであり当会の会員でもある人達にお願いする方向で調整する事が取り決められた。尚会費は会員30ドル、非会員35ドルとする。

### 2) 講演会報告 (記事参照)

10月23日(日)に開催された河野さき子女士による「Financial Advise」の講演会は14名の参加者があり、参加された人達にとって大いに勉強になったものと考え、自己財務管理に付いては人夫々資産、運用など内容が異なるので今後とも数多くの専門家を講師として招き、会員の為に役立つ様手配する事に決定した。

### ジャパングラブ「講演会」

Financial Adviser Sakiko Kono

## お金の管理の方法

- お金の管理ってどうしたらよいの?
- どんな事を知っておいたら得になるの?
- すでに退職した人はどうしたらいいの?
- 退職前にプランすることはなに?
- お金に関係する生活の中のイベントへの対応の仕方。
- 変化して行く複雑な世の中やお金の仕組みにどう対応したらよいか。
- これから先のためにやっておくべきこと。
- シンプルに考えていけるお金の管理の方法は?

河野講師の用意された資料に基づいて順序立てて説明され、途中においても参加者からは疑問や質問が出されて意義のある講演会になりました。今回は初めての事でごく基本的な内容で理解しやすいものですが参加者には、まだお仕事をされている人(定年迄まだ時間のある人)既に定年を迎えられた人、将来日本への帰国を考えておられる人、お一人で生活されている人、など色々な方がおられそれぞれに事情が異なり、疑問点、質問したい内容なども異なっている事でしょう。この点を考慮し次回は目的や、テーマを細かく分けてそれぞれの受講者のニーズにあった内容を考えていきたいと思っております。この点について河野講師に伺いました所、希望者があればトピックを絞って同様な講演会の開催を検討していただけるとのお返事がありましたのでジャパングラブとしても再開催を前向きに検討していきたいと思っております。

### 3) 役員人事の変更

役員人事に付いて、黒澤理事の急病により柏原理事が会計を担当し会計監査を宇田川理事に内定、一月の総会に於いて会員の承認を得た上で担当して貰う事に決定。これに伴い銀行口座を従来の Manual から on-line banking に up-grade して煩雑さを省き能率の向上を図る。

更に、上野会長推薦の唐崎建二氏に2017年1月より理事として当会の為に活躍していただく事を本日の理事会で承認され1月の総会に於いて会員の承認を得た上で就任していただく事になった。

以上

12月度理事会は12月3日(土)午後4時よりサンマテオ榴木マーケット2階にて開催致します。なお、理事会終了後忘年会(各自費用負担)を予定しています。

事務局 大隅敏男



河野講師と受講者  
写真提供:大隅敏男理事

ご質問などのある方は直接河野講師にお問い合わせください  
(ジャパングラブでもお取り次ぎします)  
河野さき子講師の連絡先は:  
Ameriprise Financial Services, Inc.  
•電話:415-492-8222 x617  
•sakiko.x.kono@ampf.com まで

## 箱・根・紀・行

私は今、日本滞在中でつい最近箱根に行って来ました。11月の日本と言えば各地の紅葉が話題になりますが、私が行ったのが10月末だったので紅葉には少し早かった様です。私は日本に帰って来ると大体2ヶ月間に3回は箱根に行きます。それは大学時代の友人が箱根の強羅にマンションを持っており、いつでも誘われるからです。今回も大学時代の寮で同室だったもう1人が加わって3人で2泊3日の箱根旅行をして来ました。

マンションでは自炊をしなくてはならないので出発点の小田原で2日間の食料を調達します。小田原は海に面しており、近くに早川とか真鶴とかの漁港を有しているので新鮮な魚が豊富です。そこで第1日目は刺身の盛り合わせ、2日目は煮魚か魚の干物が夕食のメインになります。今回は刺身はマグロ、ホタテ、ブリ、アジ、イカの5種類、煮魚は金目鯛の煮付けでした。その他この辺りはミカンとかイチゴと言った果物も美味しいところなのでそれらも十分仕入れて行きます。それにお酒が加わって50年前に寮の部屋でやったと同じメンバーでの宴会が始まります。

勿論、箱根に行く主な楽しみは温泉に浸かることです。幸いにして3人は大変な風呂好きで大抵1日6回風呂に入ります。箱根にはいくつかの大きな源泉があります。一番有名なのは大涌谷で昨年、噴火があって暫く立ち入り禁止が続いたところでした。マンションの源泉はその近くの早雲山にあり、ここも源泉から出る白い蒸気が遥か遠くから見える位の大きなものです。マンションは50数戸からなる規模ですが、そこに常時住んでいる人は殆ど居なく、週末でなければ大浴場で人に会うことは殆どありません。お湯は文字通り掛け流しで湯船から大量のお湯が流れ出しており、何時も勿体無いと言う気持ちで風呂に入っています。

もう一つ箱根での楽しみはトレッキングです。箱根に行く場合、目的の旅館に行くだけでは狭い道路と似た様な温泉町が幾つもあると言う印象を受け勝ちですが、一歩中に入るとこんなに深い自然が東京の直ぐ近くにあるのかと驚かされます。我々も2日目に天気が良ければ必ずトレッキングに出掛けます。コースは数多くあり、その時の気分で色々変えています。10月末に行った時は箱根の中腹にある宮ノ下と言う温泉町の下を流れる早川(漁港の早川で海に注ぐ川の上流)沿いのチェンバレンの径を歩きました。その時の写真を添えて置きますが、紅葉には早く未だ緑濃い山中と言った感じです。

2日間があつという間に過ぎ、帰る日にはほぼ決まって小田原の松琴楼と言う鰻屋に行きます。日本では相変わらず鰻は品不足で国産は目の玉が飛び出る程高くなっています。ここは勿論、国産鰻を出しています。値段の表示は松、竹、梅ではなく、140g、200g、230g、270gで別れています。因みに我々が食べた230gは税込で約2750円でした。

食べ物で始まり食べ物で終わった箱根の紀行でしたが、もう一つ特記すべきことがあります。それは外国人観光客が目立って増えていることです。箱根は東京から近いため連休とか春休みの時期には人出が目立っていましたが、今は年中人が溢れている感じです。その多くは外国人観光客で特にアジア系の若者が目立ちます。つい最近、日本への外国人観光客が2000万人を超えたと報道されましたが、箱根の現況に接しているとなるほど頷けます。これに関連して気がついたことは外国人観光客がバスに乗ろうとして電車とバスの通しパスを見せると乗車を拒否されるシーンがしばしば見られることです。これはパスは小田急電鉄が発行しているが、箱根を走っているバスの半分は旧西武電鉄系であるためです。昔の五島慶太と堤康次郎の箱根戦争の名残が今でも続いていると言うことです。外国人観光客にとってはとんでもないとばかりです。消費者(利用者)の論理ではなく、生産者(供給者)の論理が通る日本的慣行が未だに罷り通っている象徴的な現象だと思えます。皆様も日本に行ったら思わぬ時にこんな事態に出会うことがあるかも知れませんね。

東京にて  
上野正安 記・写真  
(ジャパンプラブ会長)

